



月館町長

遠藤 五六

ごあいさつ

二十世紀もあとわずかで終わりを迎えます。この一世紀一〇〇年の前半は、人類にとつて大きな争いの渦に巻き込まれた、激動と悲劇の五〇年であったと思います。

そして後半の五〇年は、めざましい科学の進歩による平和を追求した変革の五〇年と言えるのではないのでしょうか。

緑なす山々、広瀬川の悠久の流れ、月館町もこの一〇〇年、時代の流れとともに変遷を重ねながらも、先人の培ったこの「ふるさと」をしっかりと受け継いでまいりました。

今、月館町は、町の将来像を展望した「月館

町第二次振興計画」を策定し、着実に推進を図っております。

月館町に住む人びとが「自信をもって誇れるまち」に二歩ずつではありますが、実現に向かって進んでおります。

高齢者が笑顔で、壮年の方々がゆとりをもって、青少年がたくましく希望をもつて、そして女性のみなさんが愛和の心を通わせ仲良く手を結び合い、二十一世紀に向かって真の豊かさのため「花と緑あふれる夢創造の里」づくりを努力してまいります。

